

取扱説明書

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。

また取扱説明書は大切に保管してください。

affel sorbet

アップルソルベ チェア



動画を見ながらカンタン組み立て

<https://youtu.be/xkwL8ZLEdhk>

動画は右記のQRコード
からアクセスできます。



⚠ 組立ボルトは定期的な締め直しが必要です。

商標登録 第5966136号

安全にご使用いただくために必ずお守りください

この取扱説明書では、危害や財産への損害を未然に防止するために、「警告」「注意」を以下の定義で用います。

⚠ 警告…人が死亡または重傷を負うおそれがあります。

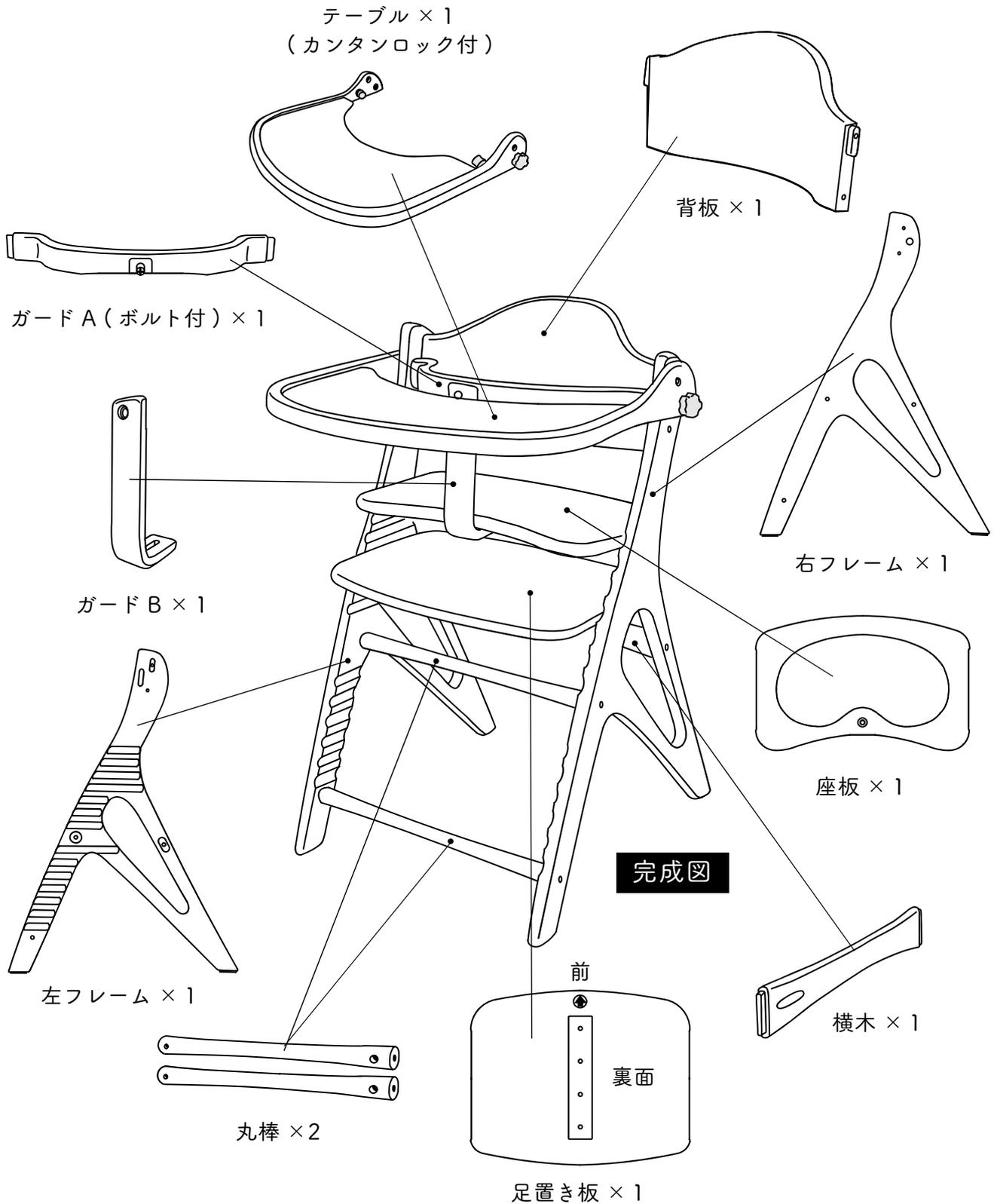
- ・ストーブなどの火気・危険物の近くで使用しないでください。火災・やけどのおそれがあります。
- ・ビニール袋・梱包材などは、速やかに廃棄してください。窒息事故などにつながるおそれがあります。
- ・ボルト・ナットなどの組立部品をお子さまの手が届かない場所に保管してください。お子さまが誤飲するおそれがあります。
- ・本製品の対象は、お座りができる概ね生後7か月から体重100kgまでです。
- ・生後36か月以下の乳幼児が使用する場合は、必ず保護者が付き添った上で身体保持機構（ガード・セーフティチェアベルト）を正しく装着してお使いください。
- ・セーフティチェアベルトは、完全に抜け出しを防止するものではありません。
- ・生後60か月以下の乳幼児が使用する場合は、必ず保護者の監督下でお使いください。
- ・横向きや後ろ向きで座ったり、正座および身体保持機構（ガード・セーフティチェアベルト）をまたがない状態で座らせないでください。脚、胴、首などがすき間に挟まり、ケガまたは死亡のおそれがあります。
- ・お子さまに座板・足置き・テーブルの上で立ち上がったたり、身を乗り出したりさせないでください。落下や転倒によるケガのおそれがあります。
- ・ご使用前に、身体保持機構（ガード・セーフティチェアベルト）の異常がないか、テーブルを使用する場合は、ロックされているかを必ず確認してください。
- ・ご使用前に、座板・足置き板が固定されていることを必ず確認してください。
- ・ご使用前に、ボルトのゆるみや木部のひび割れ、ガタツキなどの異常がないか必ず確認してください。
- ・本製品は一般家庭用商品です。業務用などその他の用途では使用しないでください。
- ・SGマーク制度は、SGマーク付きのいすの欠陥によって発生した人身事故に対する補償制度です。
- ・SGマーク制度の適用対象月齢は7か月から60か月以下です。

⚠ 注意…人が軽傷および物的損害を負うおそれがあります。

- ・同時に2人以上のお子さまを座らせないでください。
- ・座っているお子さまから目を離さないでください。
- ・お子さまがいすに乗り降りする際は、バランスを崩すと危険ですので、必ず保護者が付き添ってください。
- ・踏み台にするなど、いす以外の用途には使用しないでください。乱暴な取り扱いをしないでください。
- ・外から力をかけないでください。転倒の危険性があります。特にお子さまが乗っている場合は注意してください。また乳幼児が乗っていない場合を含み、幼児が外から手をかけたり、よじ登ったりしないように注意してください。
- ・お子さまを座らせた状態で、本製品の持ち上げや移動および座板・足置き板の高さ調節はしないでください。
- ・座板を下げすぎないでください。お子さまがフレームや背板と座板などのすき間に挟まれる危険性があります。
- ・お子さまが使用される場合は、足置き板はお子さまの足が届く高さに取り付けてください。
- ・お子さまの足が床に届くまでは、足置き板を取り付けて使用してください。
- ・テーブル使用時は、手や指を挟まないよう注意してください。
- ・テーブルの回転や固定は、お子さまが触れた状態で行わないでください。お子さまの手指などが挟まれるおそれがあります。
- ・テーブルを使用しない場合、固定用の穴が露出しますので、注意してください。
- ・床に傾斜や段差があるような水平・平坦でない場所や屋外で使用しないでください。
- ・直射日光のあたるところで使用しないでください。
- ・フローリングや畳など傷つきやすい床面で使用する場合は、必ずカーペットなど敷物の上で使用してください。床面のキズ・破損につながるおそれがあります。
- ・本製品は天然木を使用しています。ご使用環境や状況により木部が変形・劣化するおそれがあります。
- ・水分が付いた場合はただちにふき取り、高温・多湿の環境にご注意ください。カビや変色のおそれがあります。
- ・本製品および付属品を廃棄する場合は、各自自治体の指導に従って処理してください。
- ・本製品に取り付けられているステッカーを剥がさないでください。安全に使用できなくなったり、塗装が剥がれたりするおそれがあります。

完成図と各部品の名称

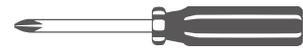
図は簡略化されており、実商品と異なる場合があります。
組み立て前に、部品がすべてそろっているかご確認ください。



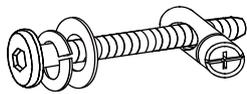
部品表（名称と個数）

図は簡略化されており、実商品と異なる場合があります。組み立て前に、部品がすべてそろっているかご確認ください。

<お客さまでご用意していただくもの>



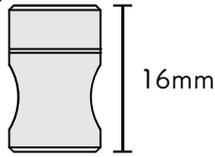
プラスドライバー



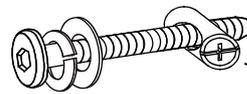
60mm

<丸棒・横木用>

組立ボルト 丸ナット（大）付
6セット



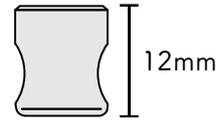
丸ナット（大）



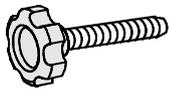
60mm

<背板・テーブル用>

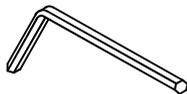
組立ボルト 丸ナット（小）付
4セット



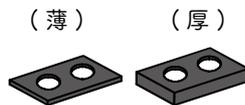
丸ナット（小）



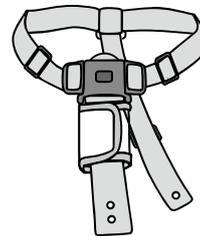
ノブボルト
×1



六角レンチ
×2



（薄） （厚）
スペーサー
各1



セーフティチェア
ベルト
×1

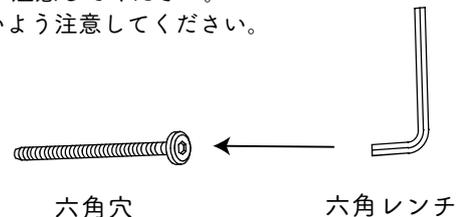
組み立てのご注意

- ・組み立ては、大人2人で行ってください。
- ・組み立て時は、水平な場所にやわらかい布などを敷いてください。本製品や床が傷つくおそれがあります。
- ・組み立て時は、部品の転倒や手足への落下などでケガをしないよう注意してください。
- ・組み立て部品（ボルト・ナットなど）の鋭利な部分でケガをしないよう注意してください。

各種金具類の使用法

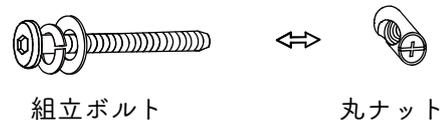
・六角レンチの使い方

六角レンチをボルトの六角穴に奥までしっかり差し込み、ボルトに対して垂直に力をかけながら締めてください。
※ゆるめる場合も同様



・組立ボルト・丸ナットの使い方

組立ボルトから丸ナットを取りはずして使用してください。



- ・丸ナットのプラスの長い溝を図の方向にしてください。ボルトを締める際に、はじめの2～3回転は手で締めてまっすぐ入ることを確認してから、六角レンチを使用してください。
丸ナットの向きはプラスドライバーを使うと調整しやすくなります。

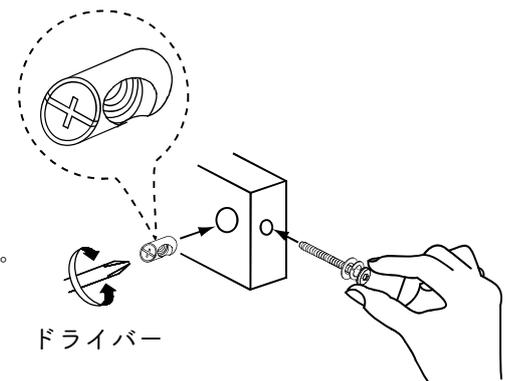
※プラスドライバーはお客さまにてご用意ください。



ボルトがナットの穴に入らない場合は一度ボルトをゆるめてください。再びボルトをナットの穴に対してまっすぐに入れて、手でゆっくりと締め直してください。



無理に六角レンチで締めるとボルト・ナットまたは木部が破損します。



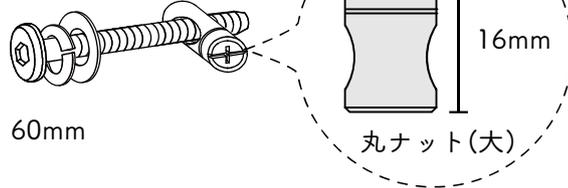
組み立て方

1. 横木・丸棒を片側のフレームに取り付けます。

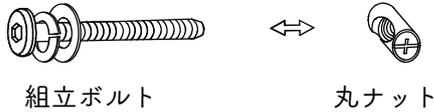
横木と丸棒の穴に、丸ナット（大）をプラス溝が見えるようにはめて、組立ボルトで締めてください。
 ※ボルトはゆるくとめてください。（ぐらぐらする程度）

使用金具

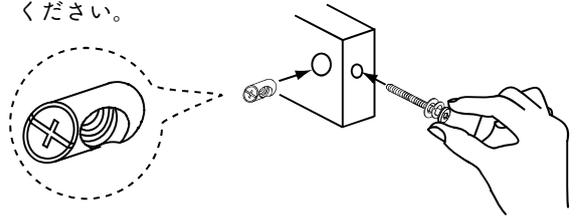
＜丸棒・横木用＞
 組立ボルト 丸ナット（大）付
 3セット



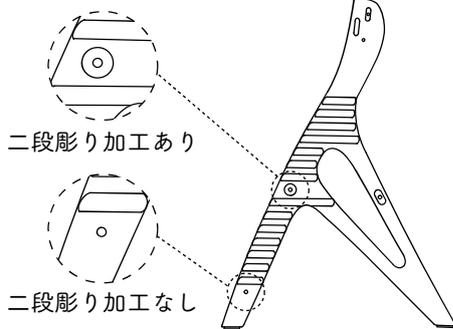
はじめに組立ボルトから丸ナットをはずして使用してください。



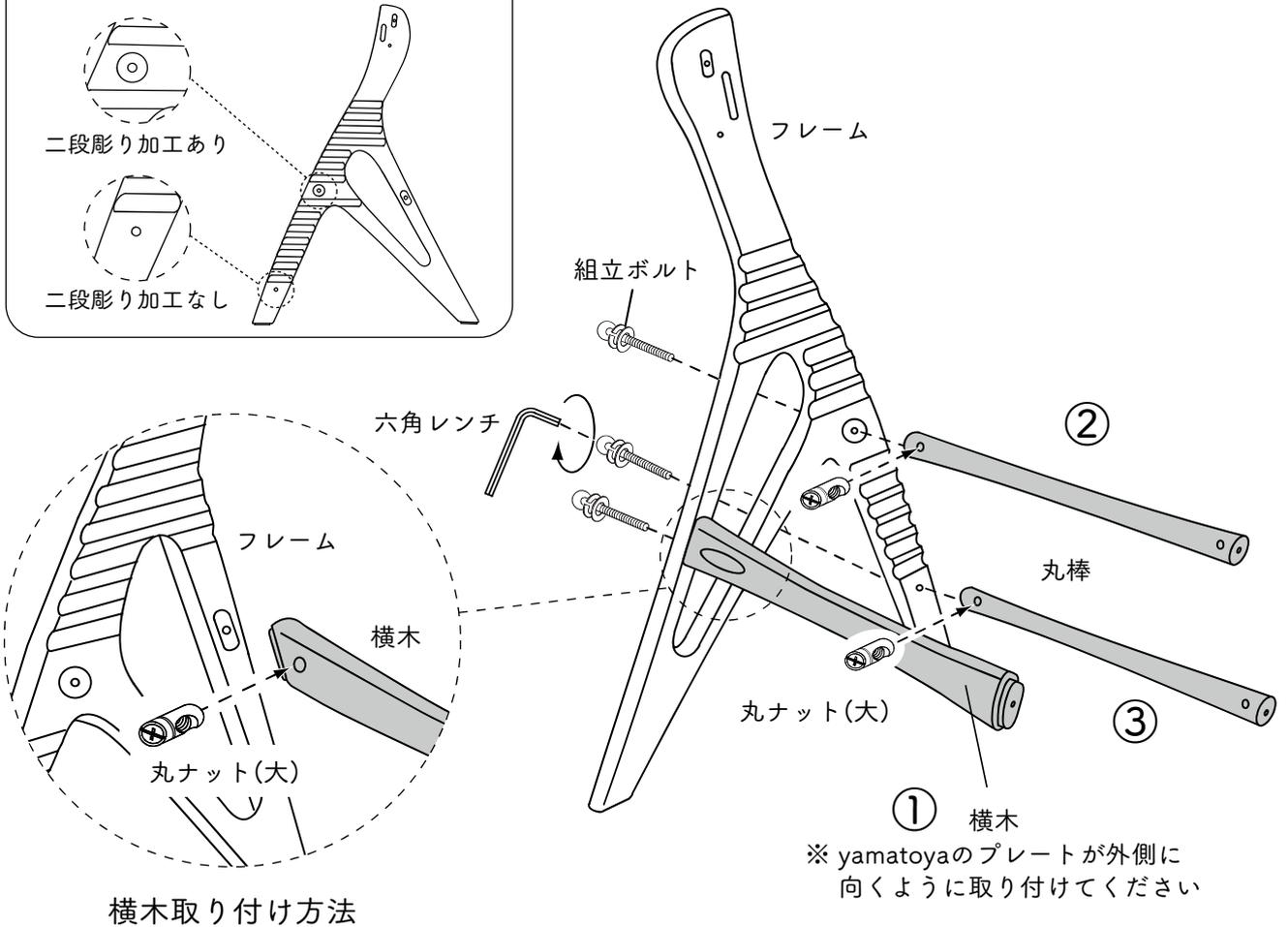
ボルトの組み付けはじめは手でゆっくと締めてください。



※ フレームの穴加工のご注意
 フレームにある丸棒用の穴加工は位置によって加工が異なりますが、設計上のものであり、不良ではありません。



① → ③の順に取り付けると取り付けしやすくなります。



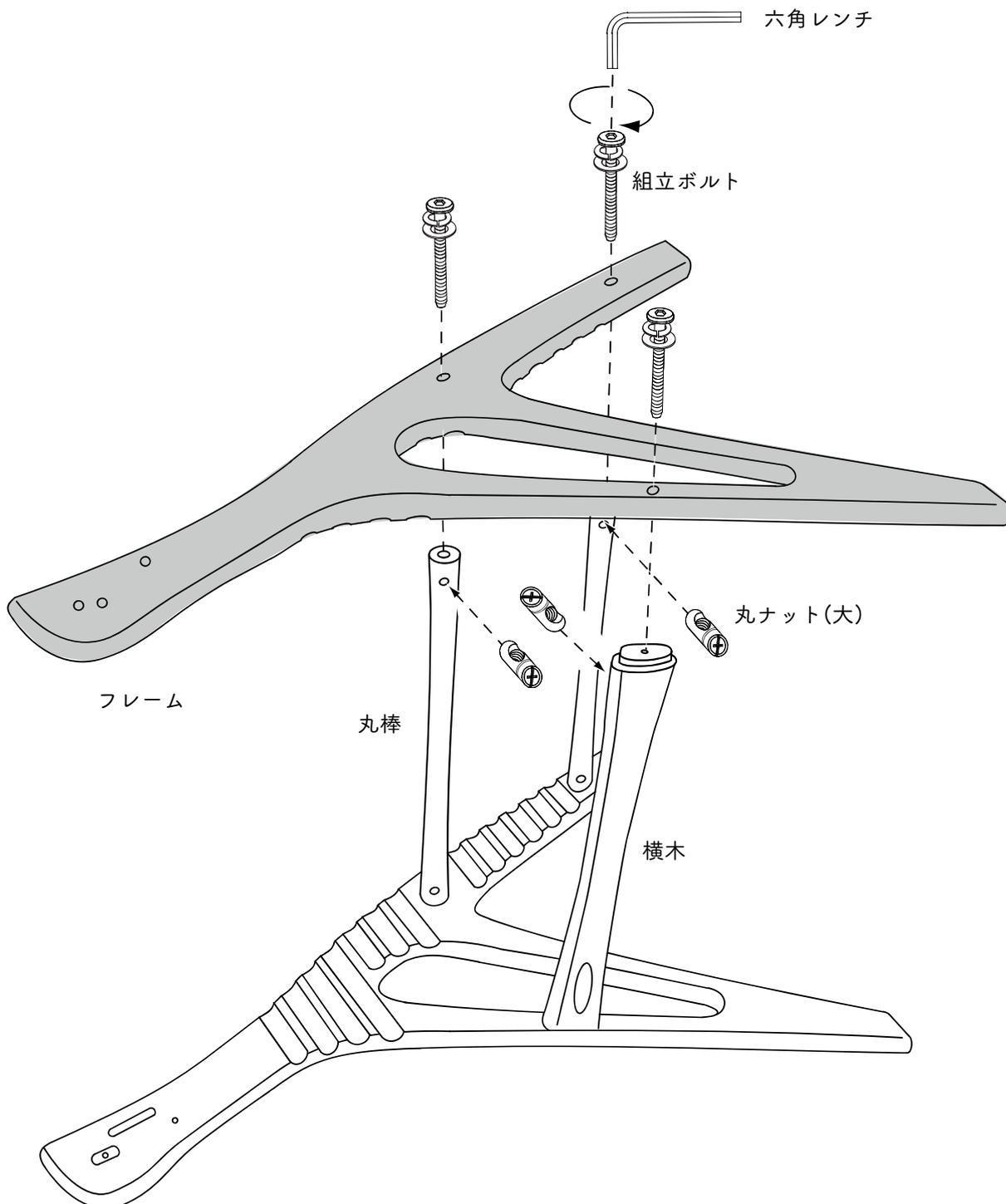
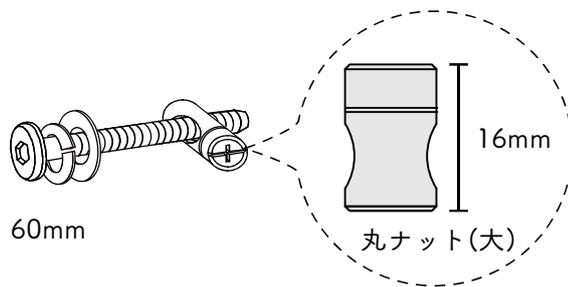
横木取り付け方法

2. 本体を寝かせて、横木・丸棒を反対側のフレームに取り付けます。

※ ゆるめに組み立てておくとガード・背板・座板・足置き板が組みやすくなります。(ぐらぐらする程度)

使用金具

<丸棒・横木用>
組立ボルト 丸ナット(大)付
3セット



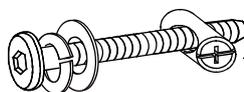
3. 本体を起こし、背板をフレームに差し込み、固定します。

背板の下側のナット穴に、丸ナット（小）をはめ、組立ボルトを左右フレームから締めてください。

※この時点でボルトはゆるくとめてください。

使用金具

<背板・テーブル用>
組立ボルト 丸ナット（小）付
2セット



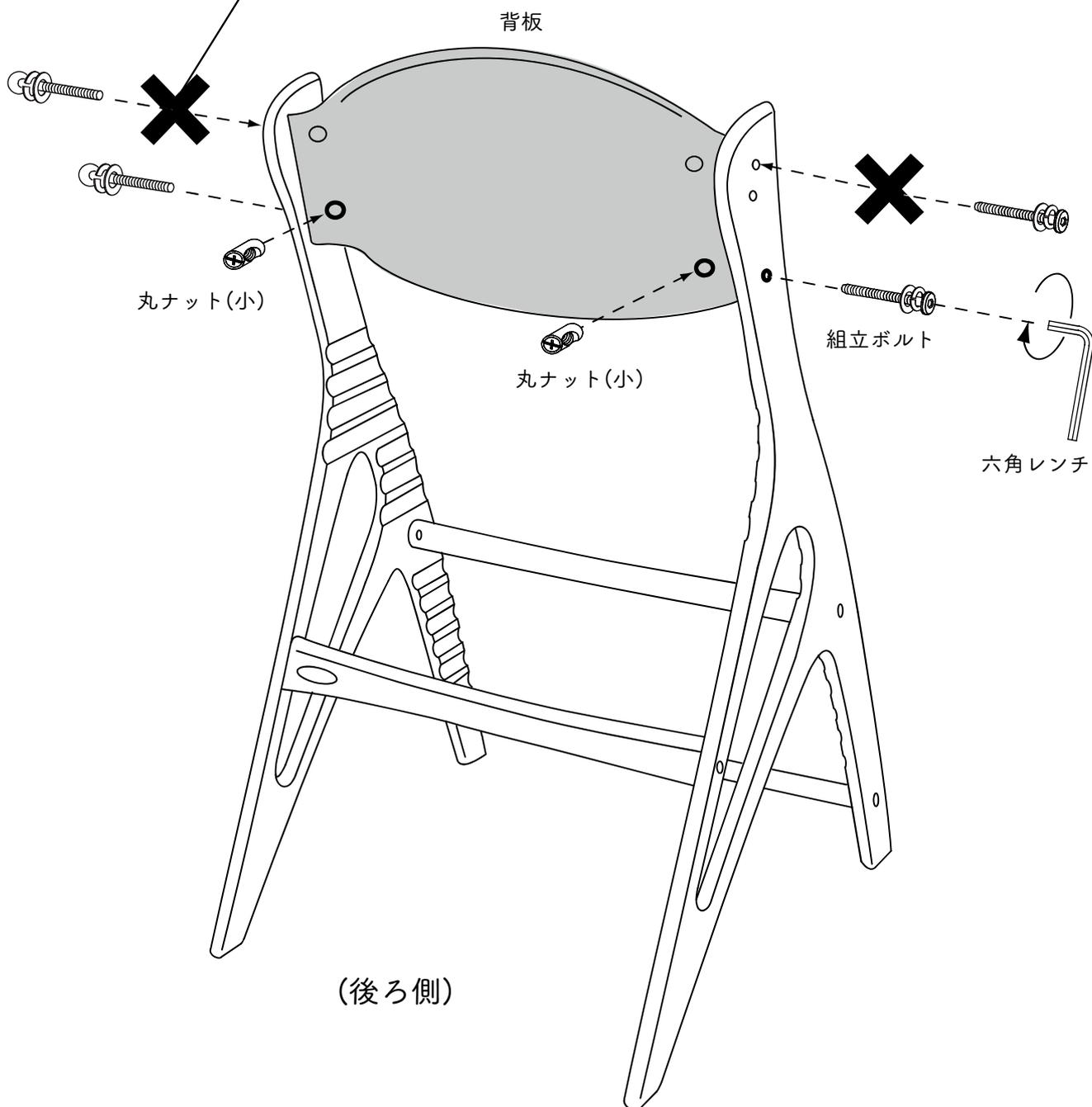
60mm



12mm

丸ナット（小）

※ 上側の穴はテーブルを取り付けるときに使用しますので、
この時点では組立ボルトを取り付けないでください。



座板・足置き板の取り付け高さ

下図を目安に、座板と足置き板の高さを決めます。

※座る方の体型に合わせて調節してください。

区分	ベビーハイチェア			キッズチェア	大人用チェア
					
対象	7か月～	1才～	2才～	3才～	大人
身長	65～70cm	70～85cm	85～95cm	95cm～	—
座板	1段目	1段目	1段目	2～5段目	—
足置き板	5段目	5～6段目	6～7段目	7～14段目	6段目 <small>※座板として使用</small>

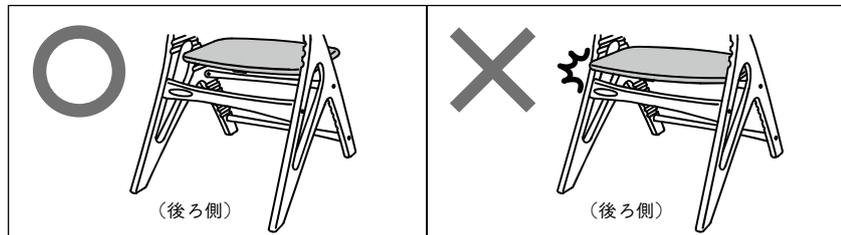
※ ベビーチェアとして使用する場合は、座板を上から1段目にして、ガードを必ず取り付けてください。

※ 座板と足置き板は最低3段あけてご使用ください。3段あけずに使用すると足置き板がしっかり固定できません。

※ 大人用チェアとして使用する場合は、足置き板を座板として使い、座板ははずしてください。

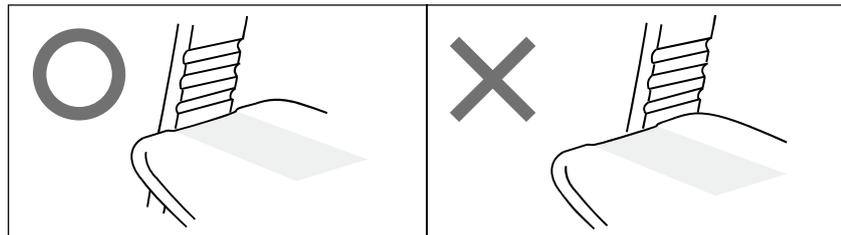
※ 組み替えの際は「P.18」をご参照ください。

※ 足置き板を取り付ける際は左右フレームの後ろ側に足置き板が当たらないように組み立ててください。



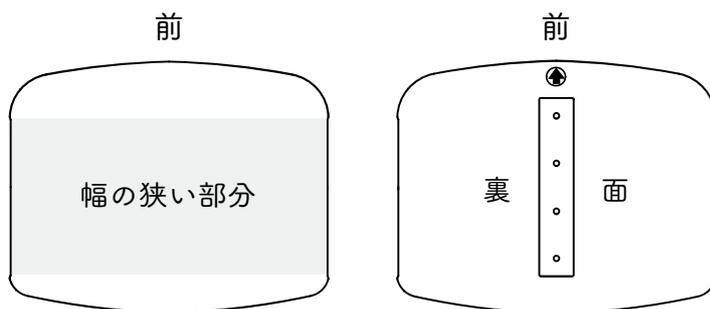
※ 座板・足置き板の幅が少し狭い部分が左右フレームの溝にくるように組み立ててください。

幅が広い部分で組み立てると、正しく固定できず、座板・足置き板の落下・損傷の原因になります。



※ 足置き板の↑の向きが前を向いていることを確認し取り付けてください。

また、矢印のシールが裏側になるように取り付けてください。



足置き板

4. 本体を寝かし、ガード A を差し込んでから座板と足置き板をフレームの溝に前から平行に差し込みます。(① → ③の順に取り付け)

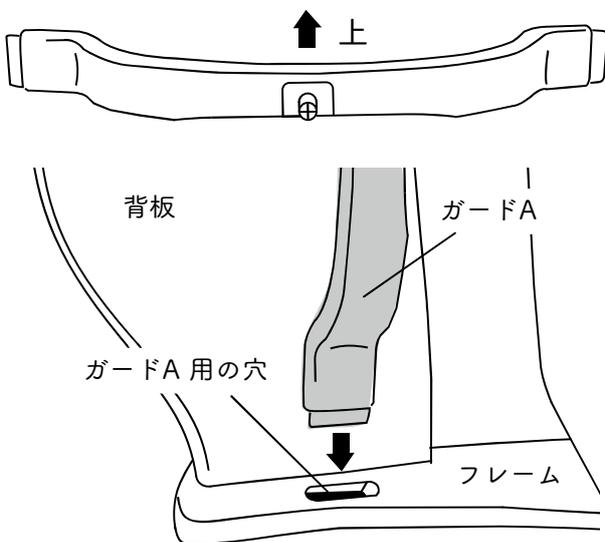
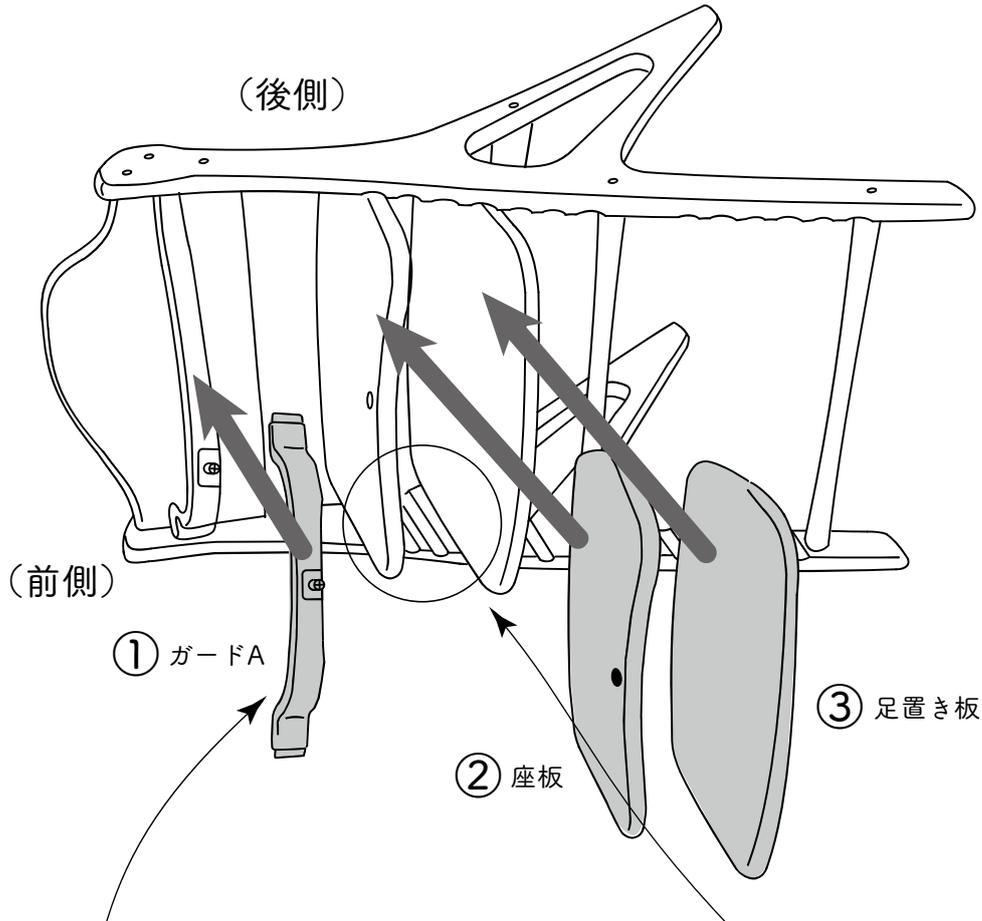
左右フレームの穴にガード A を差し込んでください。

※ボルトを締めすぎているとガード A を差し込むことができません。その場合は組立ボルトを少しゆるめてガード A を差し込んでください。無理に差し込むとフレームが割れる原因となります。

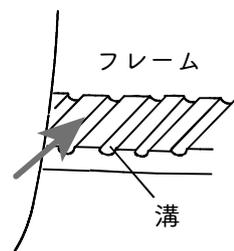
※座板は本体前側に金具がくるように差し込んでください。

※座板・足置き板が溝に差し込みにくい場合は、組立ボルトをさらにゆるめてから差し込んでください。

⚠ ガード A、B は座板が 1 段目の時しか使えません。



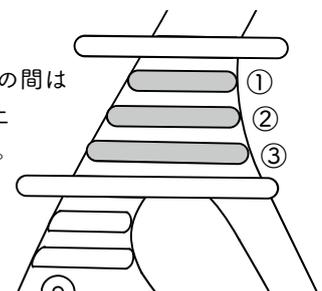
※ガードの向きを確認の上、取り付けてください。



座板と足置き板を取り付ける際は必ず左右同じ高さの溝にはめ込むように取り付けてください。

※正しく取り付けないと破損の原因となります。

座板と足置き板の間は必ず溝を3段以上あけてください。



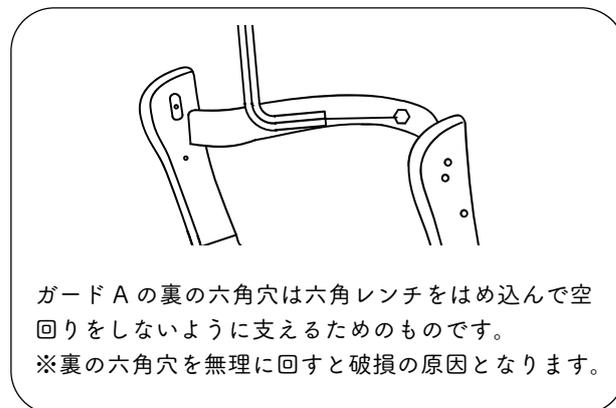
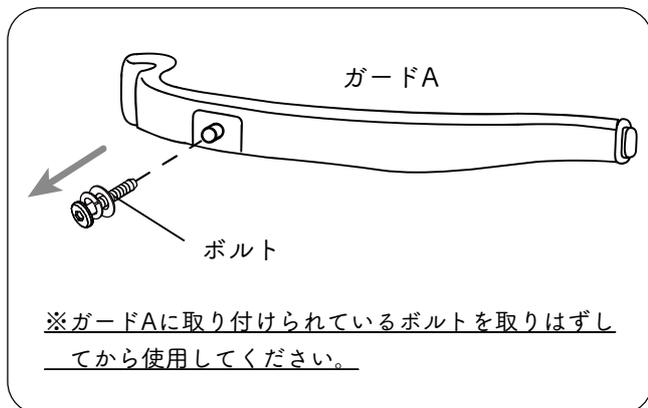
5. 本体を起こしてガード B を取り付けます。

組立ボルトを軽く締めてから本体を起こします。

ガード A (ボルト付) のボルトを使用し、ガード A にガード B を取り付けます。

※ガード B が座板裏側の溝にはまるように組み付けてください。

※六角レンチを 2 本使用して両側から締め付けてください。



⚠ ガード A、B は座板が 1 段目の時しか使えません。

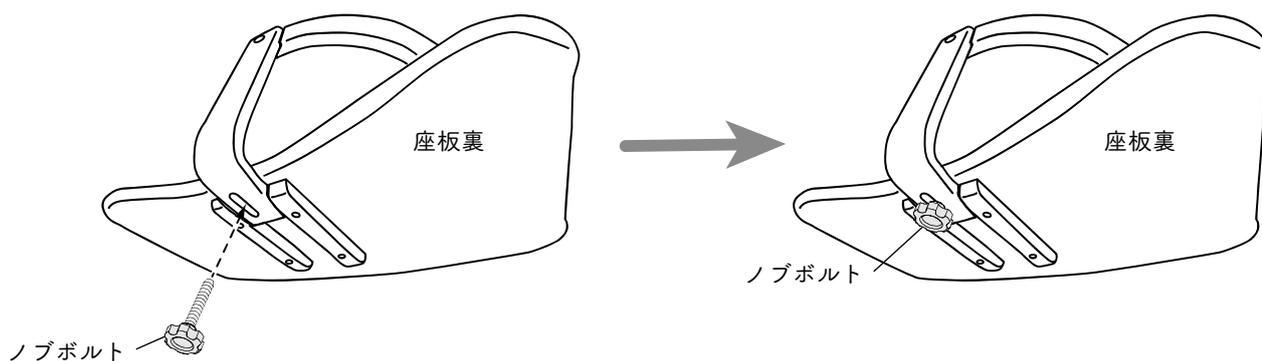
6. ガードと座板を固定します。

組み付けたガードと座板をノブボルトで座板裏にあるネジ穴に固定します。

※ノブボルトがはめにくい場合は、座板を少し前後にずらしながらノブボルトを取り付けてください。

※セーフティチェアベルトを取り付ける場合は、セーフティチェアベルトを取り付けてから固定してください。

(P.12 ~ 14 参照)

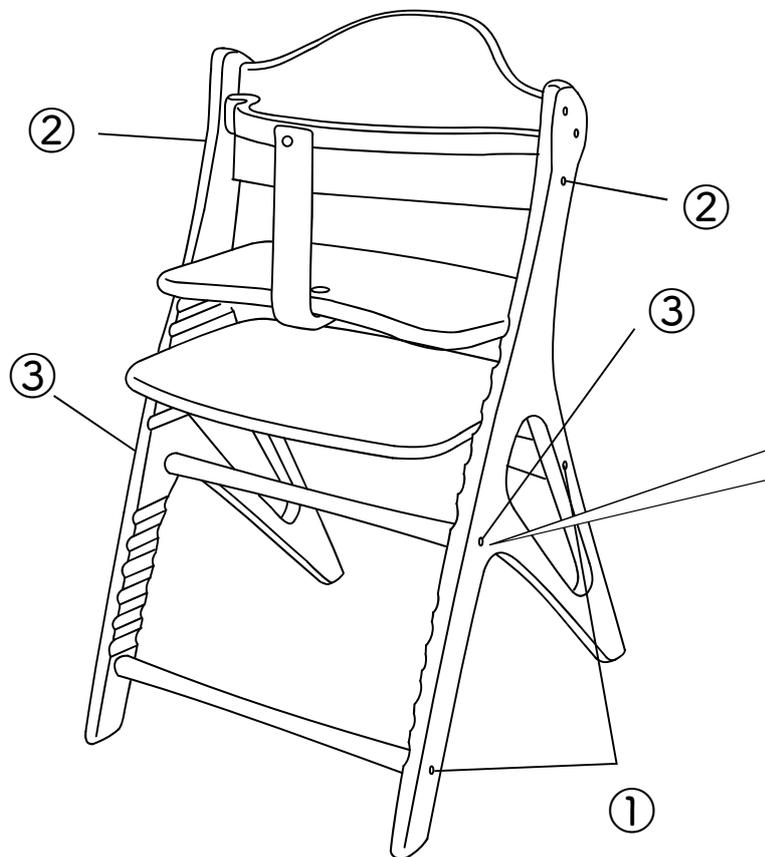


7. ボルトを締め付けます。

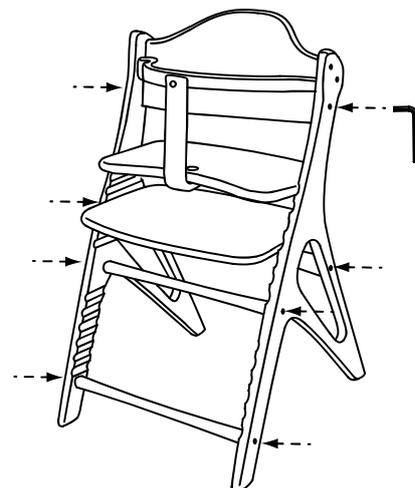
各部分が説明書通りに組みあがっていることを確認の上、ボルトを均等にしっかりと締め付けてください。

※座板・足置き板がしっかりと固定されていることをご確認ください。

< ボルト締め付けの順序 >



(反対側も同様に)



※座板・足置き板の位置によっては、中央の丸棒と左右フレームにすき間があることがあります。これは構造的なものであり商品に問題はありません。

※片側だけ極端に締め付けると丸棒とフレームの間に大きくすき間があります。すき間が左右均等になるよう締め付けてください。

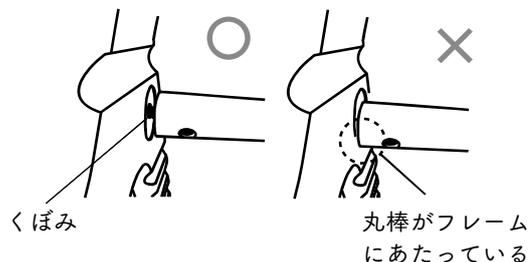


座板・足置き板が固定されない場合は？

- すべてのボルトがしっかりと締まっていますか？
 - ・一度、全てのボルトをゆるめてから、再度全てのボルトを徐々に左右均等に締め直してください。
 - ※ ①下 → ②上 → ③中の順に締めてください。
 - ・丸棒のボルトを締める際は、丸棒を手で固定して締めてください。固定しないと丸棒がボルトと一緒に回ってしまい、締め付けることができません。

- 座板・足置き板は正しい位置に取り付けられていますか？
 - ・板の幅が狭い部分が左右フレームの溝にくるように取り付けてください。P.8～9 組み立て方「4.」を参照ください。

- 丸棒は、くぼみの中央に位置していますか？
 - ・丸棒が固定される前に、フレームにあたってしまったりとしっかりと固定されません。一度ボルトをゆるめ、丸棒がくぼみの中央にくるように締め直してください。



8. セーフティチェアベルトを取り付けます。

※ セーフティチェアベルトを使用しない場合は → P.15へ

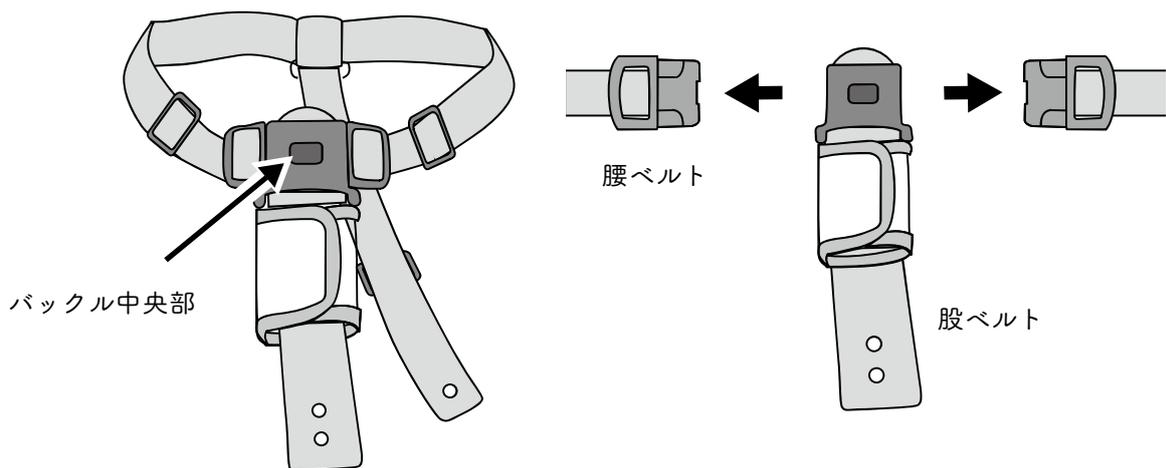
⚠ 警告…人が死亡または重傷を負うおそれがあります。

- ・本製品は、ベルトの装着によりお子さまの抜け出しを完全に防止することを保証するものではありません。
- ・保護者の目の届く範囲で使用してください。
- ・保護者が取り付けてください。
- ・ベルトは正しく取り付けた状態で使用してください。
- ・各パーツに破損や不足がある場合は、使用しないでください。
- ・ベルト、バックル、クッション部分をお子さまが口に入れないように注意してください。
窒息するおそれがあります。

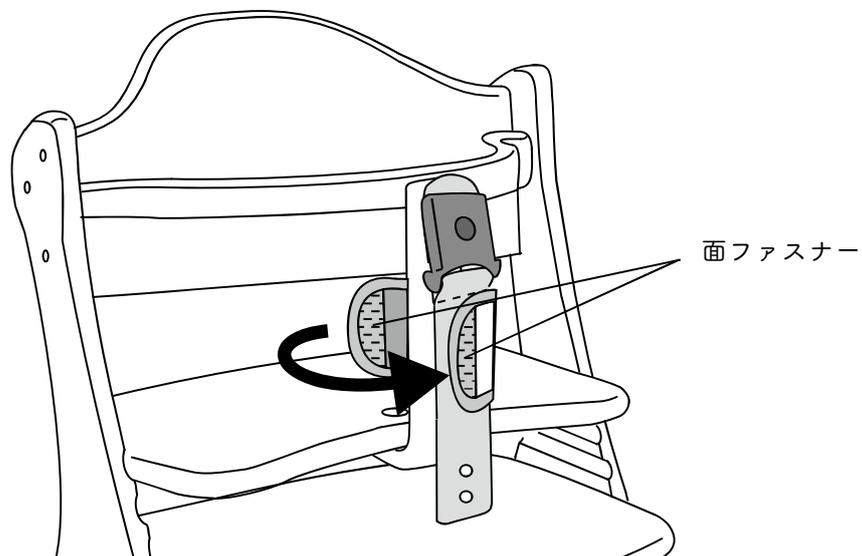
⚠ 注意…人が軽傷および物的損害を負うおそれがあります。

- ・使用しない際は、お子さまの手が届かない場所に保管してください。
- ・保護ベルト以外の用途で使用しないでください。
- ・乱暴な取り扱いをしないでください。

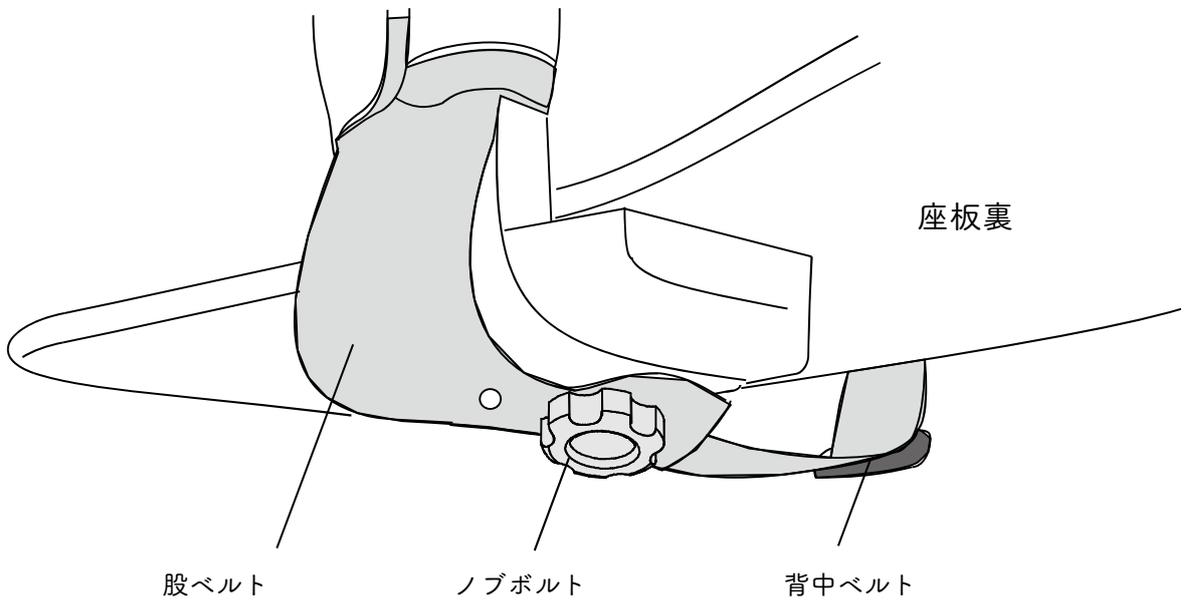
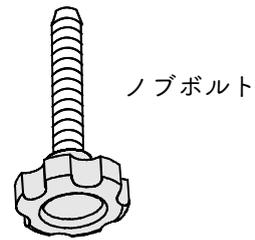
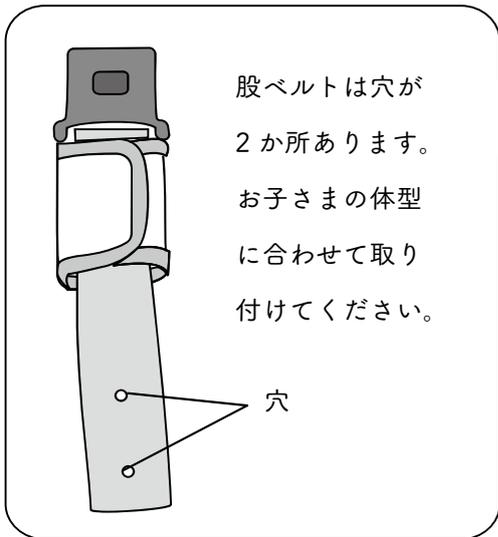
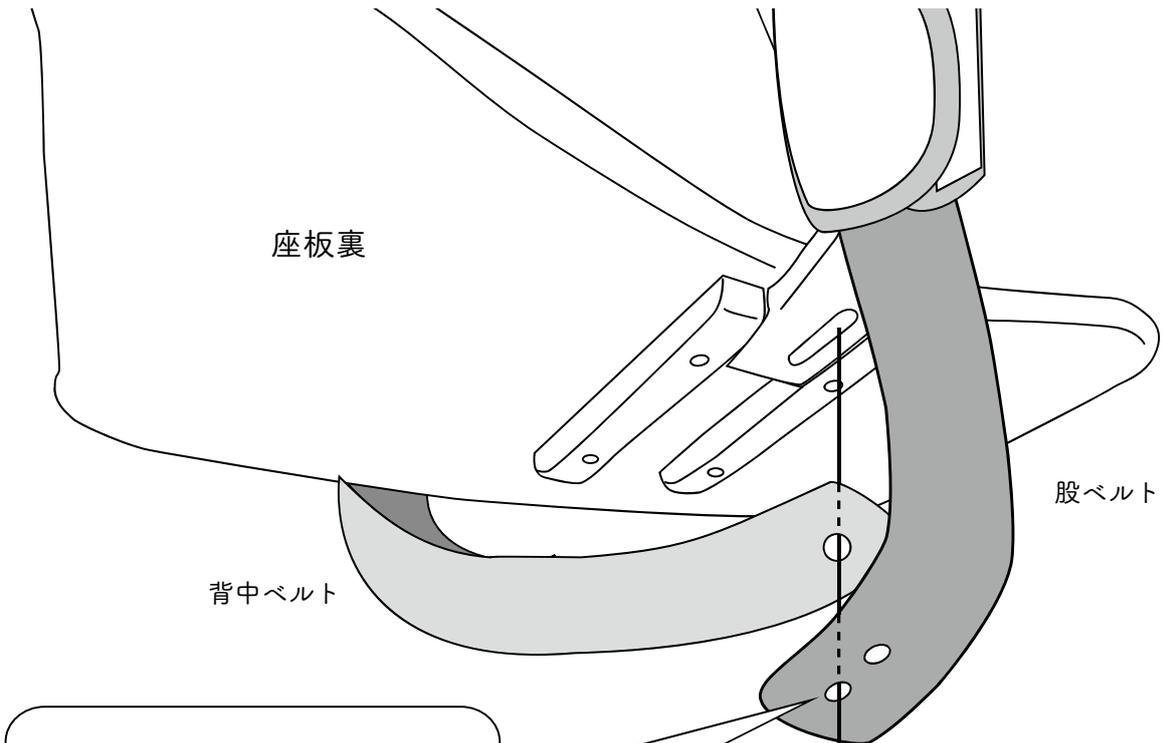
- ① セーフティチェアベルトのバックル中央部を押してロックを解除し、股ベルトと腰ベルトに分けます。



- ② 上図の股ベルトのカバーをガードに巻き付けて、面ファスナーで固定します。

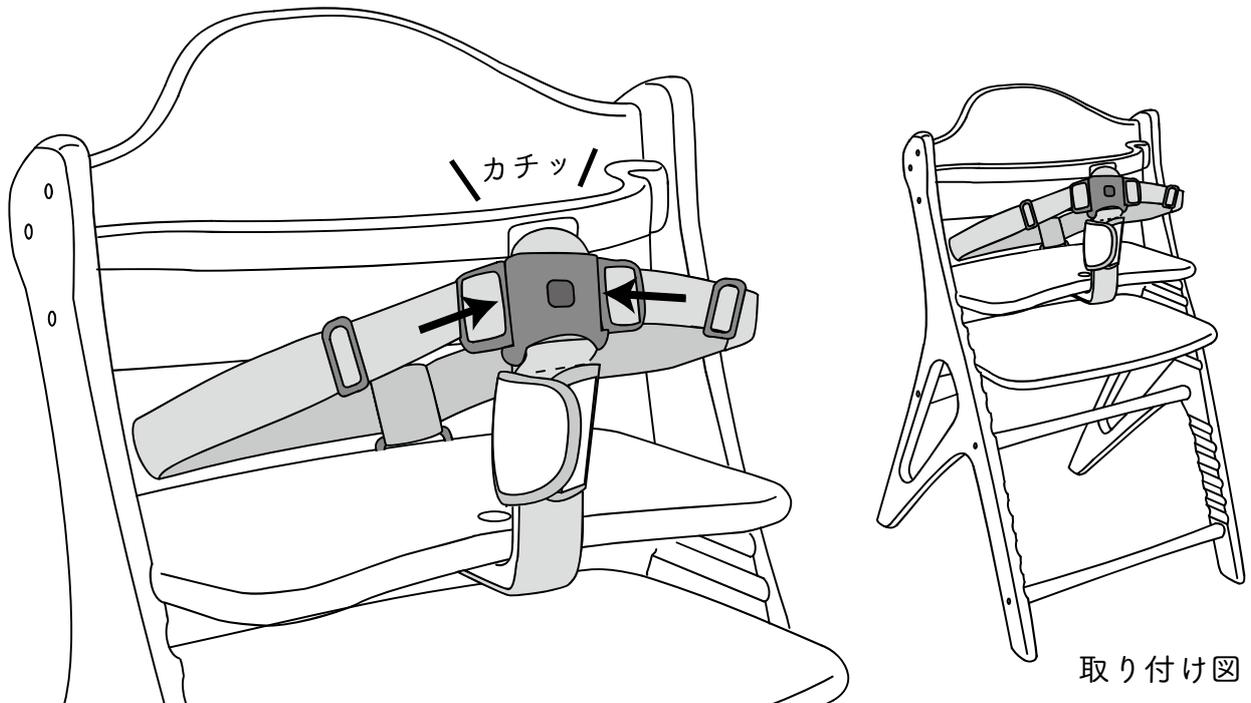
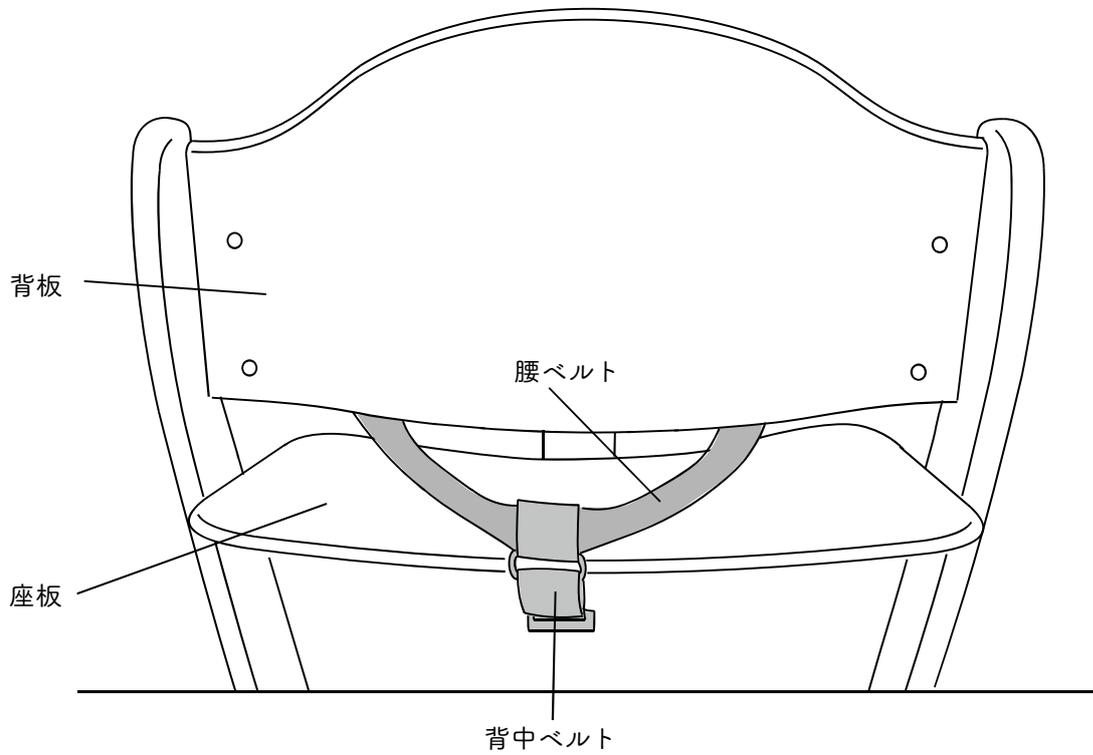


③ 背中ベルト→股ベルトの順に重ねて、ノブボルトで固定します。



- ④ 腰ベルトをチェア本体の背板と座板の間に通し、バックルにはめ込みます。
※バックルはカチッと音がするまでしっかりとセットしてください。

背面図

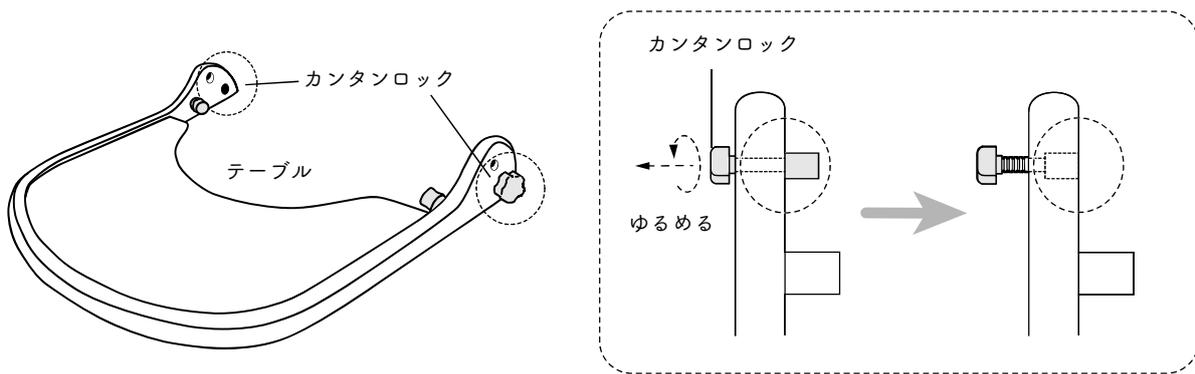


取り付け図

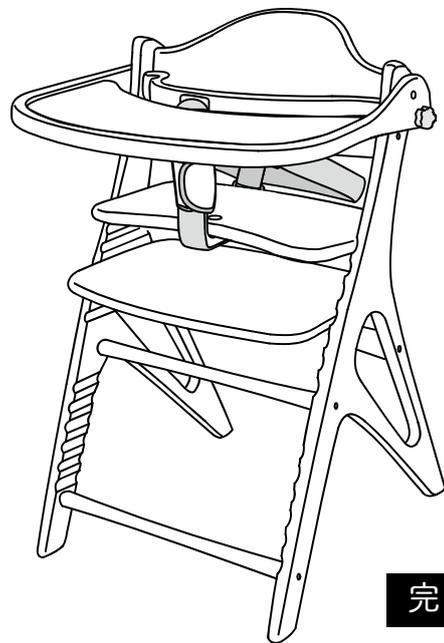
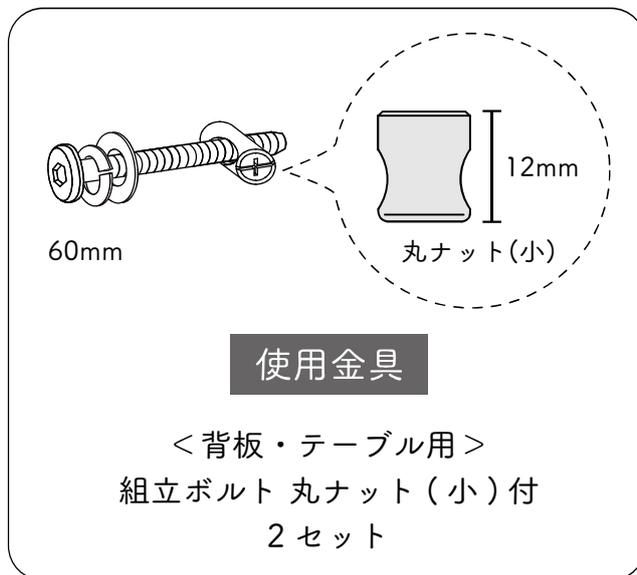
⚠ バックルを固定する際に、指を挟まないように注意してください。

9. テーブルを取り付けます。(テーブルを使用しない場合はP.16へ)

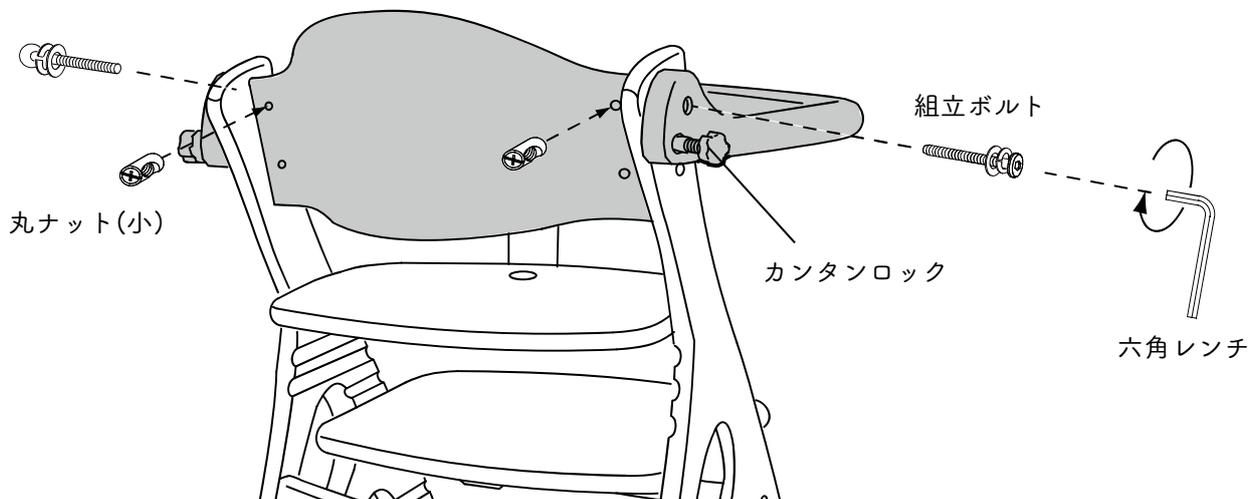
左右のカンタンロックを反時計回りに回してゆるめ、テーブルアームの内側にロックが出ないようにしてください。



背板のナット穴に、丸ナット(小)をはめ、組立ボルトでテーブル・フレーム・背板を一緒に固定してください。
※テーブルが取り付けにくい場合は、先にカンタンロックで固定してください。



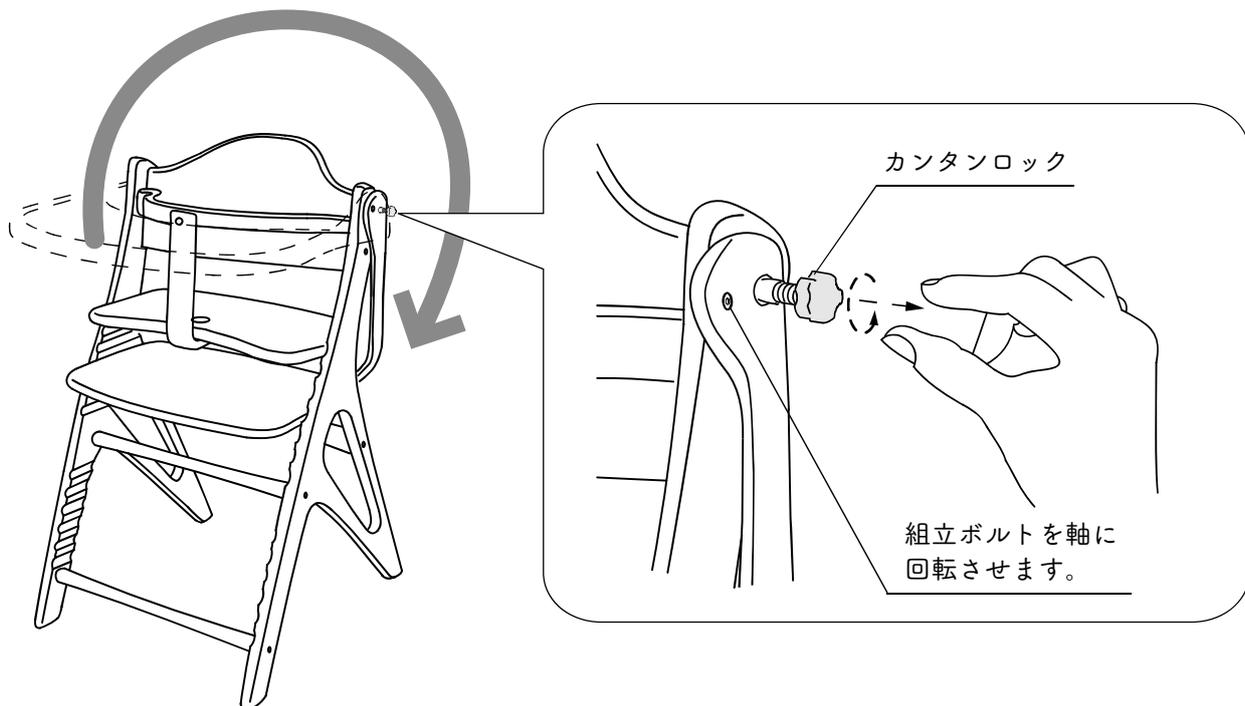
完成図



※テーブル使用時は、カンタンロックで必ず固定してください。固定をしないと指を挟む等の危険があります。

テーブルを一時的に使わない場合

テーブルを使わない場合は、固定しているカンタンロックをはずせば、テーブルを後ろに回すことができます。
※組立ボルトははずさないでください。

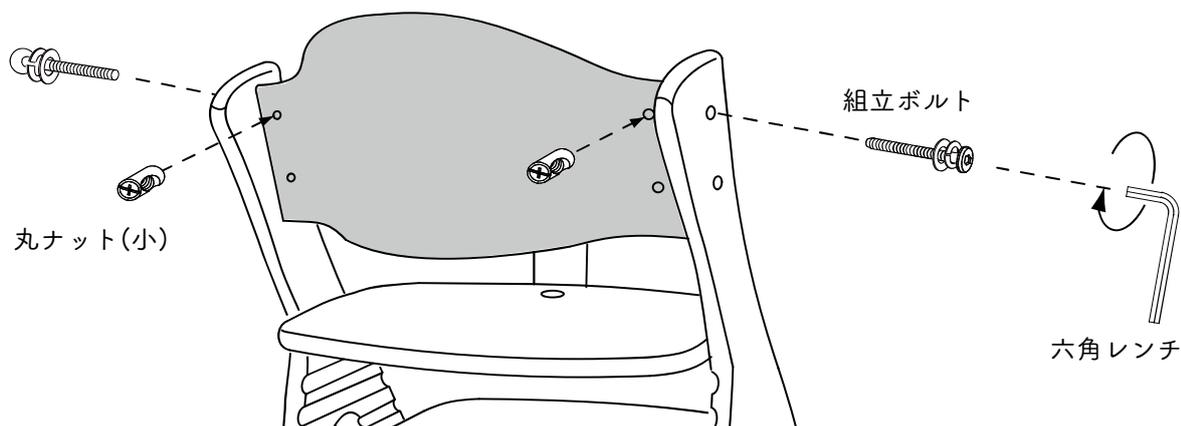
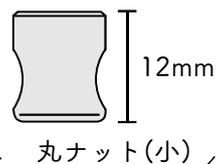
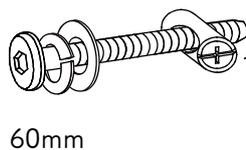


テーブルをはずして使用する場合

テーブルを取り付けずに背板のナット穴に、丸ナット（小）をはめ、組立ボルトを左右フレームから締めてください。
※組み立て方「3.」のタイミングでの取り付けも可能です。

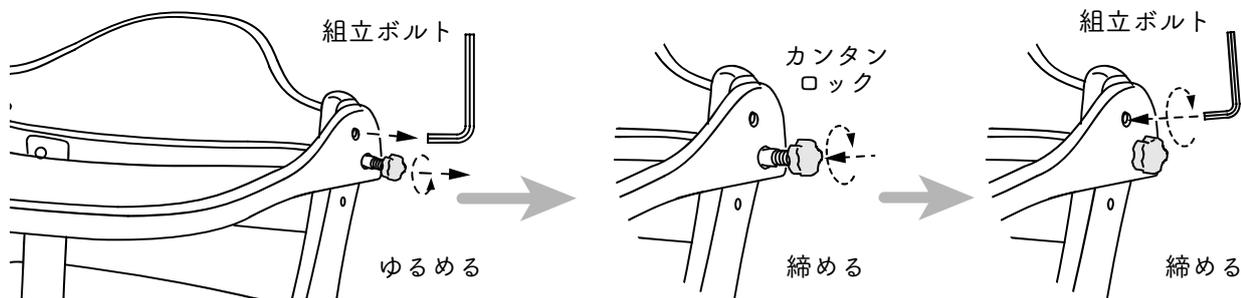
使用金具

<背板・テーブル用>
組立ボルト 丸ナット（小）付
2セット



カンタンロックが入らない場合

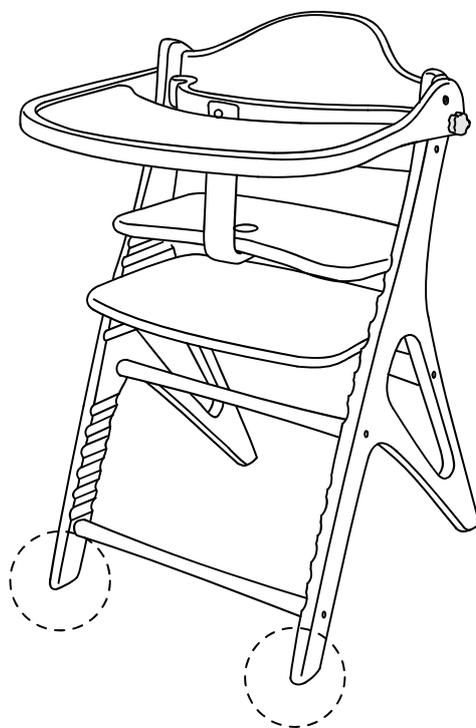
1. テーブルを少し上げ下げし、カンタンロックが穴に差し込まれるように調整してください。
2. それでも入らない場合は、一度テーブルとフレームを固定している左右の組立ボルトをゆるめてください。
カンタンロックでテーブルを固定し、再び左右の組立ボルトを締め直してください。
※その際テーブルが落下しないように手で支えてください。



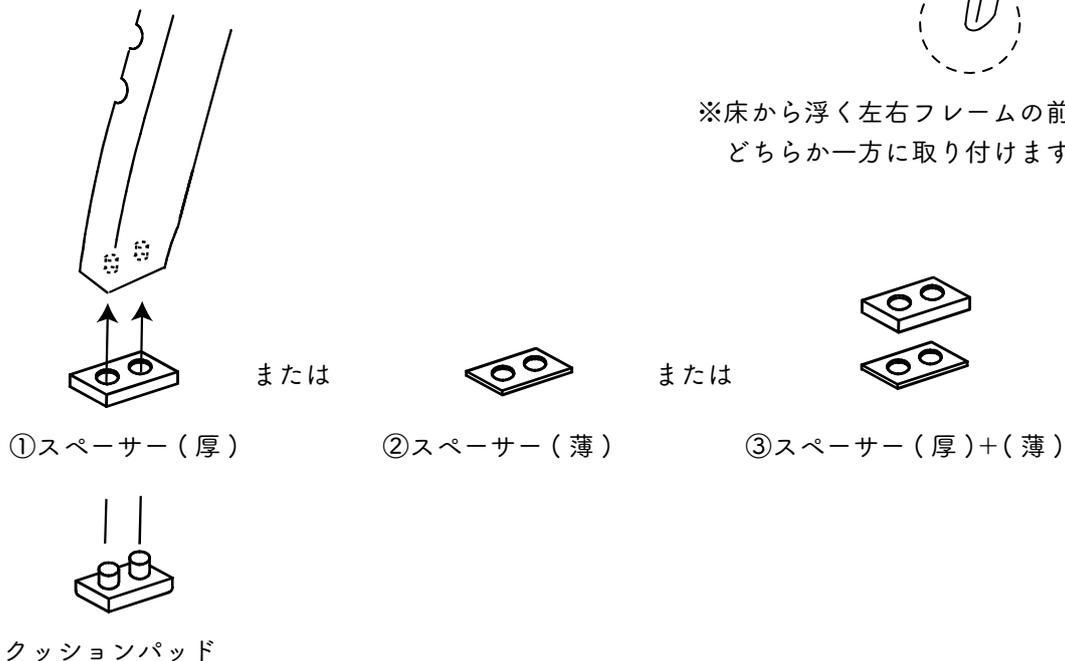
チェアがガタつく場合

木は製品になった後でも、室温や湿度など環境によって目に見えない微細な伸び縮みを繰り返しています。この製品も木製のチェアであり、そうした動きを繰り返すうちにガタつき等として変化が生じる事があります。また、ご自宅のフローリングなど、床との相性によってもガタつきが起こる事もあります。以下の方法で、ガタつきを軽減できます。

1. 座板・足置き板が左右フレームの同じ高さの溝に差し込まれているか確認してください。
2. 一度すべての組立ボルトをゆるめ、再びすべてのボルトを少しずつ左右均等に締めてください。
※座板を上から軽く押さえながら左右均等に組立ボルトを締めると、ガタつきが直ることがあります。
3. 床から浮いている左右どちらかのフレームの前脚からクッションパッドを取り外してください。マイナスドライバーを使うと取り外ししやすくなります。床からの浮き具合に合わせて、スペーサー（厚）、スペーサー（薄）またはその両方とクッションパッドをフレームの前脚に取り付けてください。



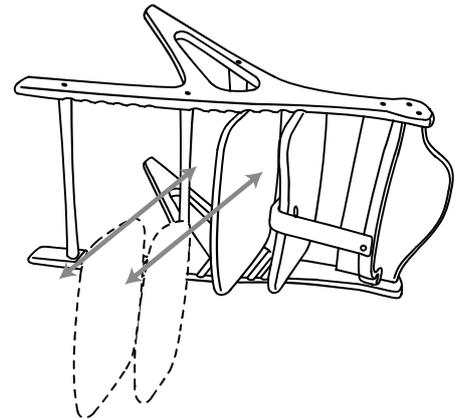
※床から浮く左右フレームの前脚どちらか一方に取り付けます。



座板・足置き板の位置を変える場合

- ・テーブル、ガードBを取り外し、全体的にボルトをゆるめます。
商品をゆっくりと寝かせ、片側のボルトをさらにゆるめて座板・足置き板を抜き取ります。
P.8、9にもどり、座板・足置き板を希望の高さに差し込み
再度、手順に沿ってボルトを締め直してください。

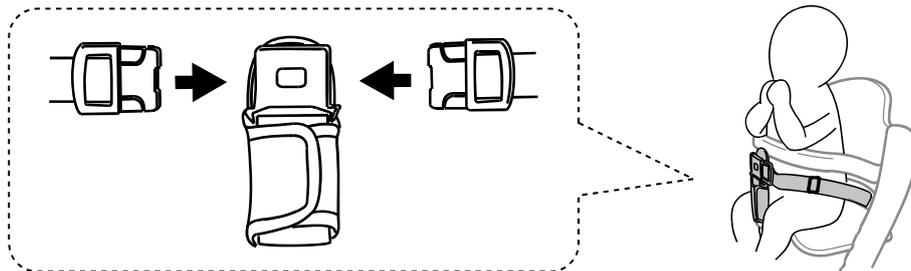
- ※商品を起こしたままボルトをゆるめすぎると座板・足置き板が落下や損傷のおそれがあります。ご注意ください。
- ※座板を2段目より下にする場合はガードが使用できません。
ガードをはずして使用してください。
- ※ガードを取り外す際はフレームの破損の原因となりますので、ボルトを十分にゆるめてから取り外してください。



お子さまの座らせ方（セーフティチェアベルトを使用する場合）

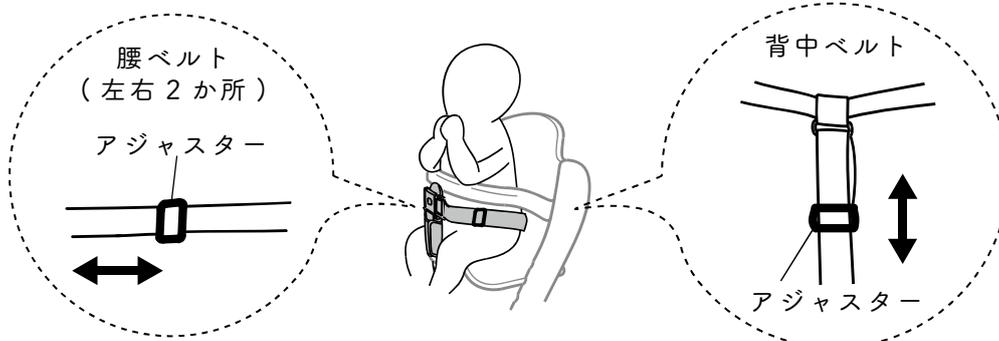
- ⚠️ ・ご使用前に、ベルトを固定する座板裏のノブボルトにゆるみがないか確認してください。
ゆるんでいるとベルトがはずれ、落下するおそれがあります。
- ・バックルがしっかりと固定されていることを確認してください。しっかりと固定しないと落下するおそれがあります。
- ・ご使用中に、お子さまの首や腕がベルトにひっかかっていないことを確認してください。

1. バックルをはずした後、お子さまをベビチェアに座らせ、再度バックルを固定してください。



- ⚠️ カチッと音がするまでしっかりとセットしてください。
※指を挟まないようにご注意ください。

2. お子さまの体型に合わせて、アジャスターでベルト長さを調整してください。



- ⚠️ 背中ベルトは長めに調整し、腰ベルトはお子さまの腰回りにぴったりフィットするように調整してください。

お手入れ・点検の仕方

・お手入れの仕方

日常のお手入れは乾いた柔らかい布でふいてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液を布に浸して固く絞ってから汚れをふきとり、乾いた布で水分を残さないようにふいてください。

水にぬれたままで放置したり、高濃度アルコール、シンナー、ベンジン、化学ぞうきん（マイクロファイバークロスなど）、研磨剤などを使用しないでください。変形・変色・塗装面を傷つけるおそれがあります。

セーフティチェアベルトが汚れた場合は、ぬるま湯につけて中性洗剤で手洗いしてください。

洗った後はよく乾かしてください。乾燥が不十分だと変色やカビが発生するおそれがあります。

・点検の仕方

ボルトのゆるみ、木部の割れ、異常音などは、ご使用前に必ず確認してください。

各部に異常が見つかった場合は、そのまま使用せず適切な処置を施してください。処置しても直らない場合は、販売店または弊社までご相談ください。

木製の組み立て商品は、定期的なボルトの締め直しが必要です。

締め直しの前に、組み立て金具や六角レンチに異常がないかご確認ください。

六角レンチが摩耗したり紛失した場合は、市販の六角レンチ（太さ 4 mm）もお使いいただけます。

・各部が説明書通りに組み立てられているか、確認してください。

・この取扱説明書と六角レンチは大切に保管してください。

・お手入れやメンテナンス方法など、最新のサポート情報はコーポレートサイトからご確認ください。

yamatoya コーポレートサイト：製品サポート <https://www.yamatoya-jp.com/support/>

製品サポートへのアクセスは
こちらのQRコードから。



エコなゴムの木

「アッフル ソルベ チェア」に使われている木は「ゴムの木」。

計画的に植林され、天然ゴムとして樹液が採取されたあとに家具として再利用される

「ゴムの木」はとても“エコ”な材料なのです。

商品名：アッフル ソルベ チェア

寸 法：約幅 54 × 奥行 58 × 高さ 83 cm

構造部材：主な材料 / 天然木
背板・ガード / 合板
テーブル / 合板・繊維板

塗 装：ウレタン樹脂塗装

生産国：インドネシア

<セーフティチェアベルト>

対象年齢：腰が据わった7か月頃～3才未満

素 材：ベルト / ポリプロピレン
バックル・アジャスター / ポリアセタール
クッション / (表地・裏地) ポリエステル、(中綿) ウレタンフォーム

生産国：中国

製造元：株式会社 大和屋



保証書

保証期間はご購入日から1年です。

保証規定

- ・保証期間内において、取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合は、保証規定に基づき無償対応いたします。ご購入店または弊社へ製品と本保証書をご提示の上、お申し付けください。
- ・ご購入の製品が、お客さままたは第三者による不適切なご使用・お取り扱いにより、故障・破損・事故その他不具合が生じた場合、弊社はその責任を負いかねます。
- ・修理を依頼される際のご持参、宅配便などの料金および諸経費はお客さまにてご負担願います。
- ・一度ご使用されたものは、原則としてお取り替えできません。
- ・保証期間内においても次の場合には、原則として有償またはお受けできない場合があります。
 - (1) 開封後のお客さま都合によるご交換
 - (2) ご購入もしくは商品受け取り後、1週間を過ぎた内容物の不足
 - (3) 組み立て中における破損
 - (4) 製品本体に取り付けられているス
 - (5) 天然木の自然変色・変形や経年劣
 - (6) 木目や材の性質などによる色合い
 - (7) ご使用後の木部以外の消耗品 / 付
無効 付属チェアベルト、組み立て部品など)
に交換を要する場合
 - (8) アウトレット・リサイクルショップなどでのご購入、第三者からの譲渡品など、いわゆる新品ではない中古品の場合
 - (9) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷
 - (10) 火災、地震、水害、落雷その他天災による故障および損傷
 - (11) 一般家庭以外で、業務用などに使用した場合
 - (12) 商品に瑕疵がなく、通常使用により発生した床や壁などの周辺物への直接または間接の傷、汚損など
 - (13) 無償対象外にて発生する宅配便などの諸経費
 - (14) 製造中止後、必要部品の廃番、あるいは部品供給期間が過ぎた場合
 - (15) 本保証書の紛失、またはご購入年月日・お客さま氏名などが未記入、あるいは改ざんされている場合

本書は日本国内においてのみ有効であるとともに、再発行はいたしませんので大切に保管してください。

	お名前
	電話番号
ご住所 〒	
購入店（店名・住所・電話番号）	お買い上げ伝票または領収書添付欄

※必ずお読みいただき、必要事項をご記入後、お買い上げ伝票または領収書を添付の上、大切に保管してください。
※品質向上の為、予告なしに一部仕様変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
※ご返品・ご返金につきましては、ご購入先にお問い合わせください。
※無償修理対象外の修理につきましては、弊社までお問い合わせください。



株式会社 大和屋
愛知県安城市三河安城本町2丁目8番地4
TEL 0566-72-7771
FAX 0566-72-7777
☎FREE 0120-27-8108（平日9～17時）

www.yamatoya-jp.com
お問い合わせ：
service@yamatoya-jp.com
お問い合わせは右のQRコードからも可能です。



20241218